

2015 秋企画 宇陀観光バスで巡る 「神武伝承地探訪コース（菟田野・大宇陀）」

★モデルコース

近鉄榛原駅～桜実神社・八ツ房杉～菟田野の高城～宇賀神社・血原橋～菟田穿邑
聖蹟顕彰碑～高倉山～近鉄榛原駅

●出発地やお客様に見合ったコース設定等、ご要望に応じさせていただきます。

★見どころ

【桜実神社】菟田野は山あいの辺鄙な地にもかかわらず、神社で有名なものが多い。この桜実神社もその1つで、神武天皇の東征にまつわる伝説の地、佐倉の高城の地にあります。

【八ツ房杉】イワレヒコ（後の神武天皇）が、菟田野の高城で陣を張った時に植えられたという杉の巨木。桜実神社の境内にあり、株から伸びた8本の幹が互いに絡み合い、ある幹は1本になり、再び分かれるといった珍しい樹形です。

【菟田野の高城】イワレヒコ（後の神武天皇）が宇陀へ入って最初に陣を張ったところとされます

【宇賀神社】神武東征の伝承に登場する大和の豪族、兄宇迦斯（えうかし）と弟宇迦斯（おとうかし）を祭ったという説もあります。

【血原】イワレヒコ（後の神武天皇）が兄宇迦斯（えうかし）を殺した時、周囲に多くの血が流れて赤く染まったそこを「血原」と呼ぶようになりました。

【菟田穿邑聖蹟顕彰碑】イワレヒコ（後の神武天皇）は、穿邑に宮を造りそこを拠点として、暫く滞在したと伝えられている。

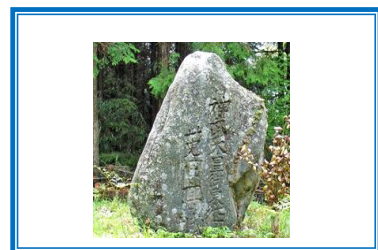
【高倉山】イワレヒコ（後の神武天皇）は、宇陀の高倉山に登って国中を眺めたと日本書紀にあります。



桜実神社



八ツ房杉



菟田野の高城



宇賀神社



菟田穿邑聖蹟顕彰碑



高倉山聖蹟顕彰碑